

# FS200 手順:

Fiery サーバーでプリプレス ツールを使用してファイルに関する問題のトラブルシューティングを行う



# FS200 手順: Fiery サーバーでプリプレス ツールを使用してファイルに関する問題のトラブルシューティングを行う

## 機能概要

Fiery® Graphic Arts Package, Premium Edition は、プロフェッショナル向けのツールキットで、顧客のファイルのソフト校正、プリフライト、およびトラブルシューティングを行う一連の機能を Fiery サーバーに提供します。

デジタルカラー印刷向けに特別に作成された Preflight は、市場で最も高速かつ直観的なプリフライト ツールです。発生しがちなエラーをチェックし、確実にファイルが Fiery Driven™ 印刷エンジンで正常に印刷されるようにします。

Preflight は、ジョブの処理とは別に実行される機能なので、Fiery サーバーのパフォーマンスに影響を与えることなく、高速処理を提供できます。ユーザーは、画面に表示される Preflight レポートをわずか数秒で確認できます。レポートには、ジョブにエラーがあるかどうかと、各チェック領域の状況がカラーコードとアイコンで一目でわかるように表示されます。

Postflight は、デジタル プリプレス ワークフローの品質管理のため、処理済みのファイル (Adobe® PostScript®, PDF、DCS2 など) を分析するプロセスです。Postflight レポートは、印刷済みジョブのカラーに関する問題をオペレーターがトラブルシューティングできるようにするツールです。このツールを予防手段として使用することもできます。

Fiery ImageViewer の機能強化では、カラー曲線の作成と適用に対する正確なコントロールが実現されています。曲線は「ジョブのプロパティ」で適用でき、ImageViewer を開かずにカスタム曲線や出荷時デフォルト曲線の補正を適用できます。

## ゴール

- ジョブのプリフライト
- ジョブのポストフライト
- 「ジョブのプロパティ」での ImageViewer 曲線の適用

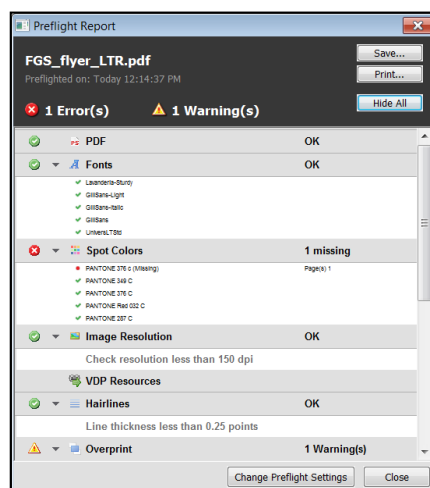
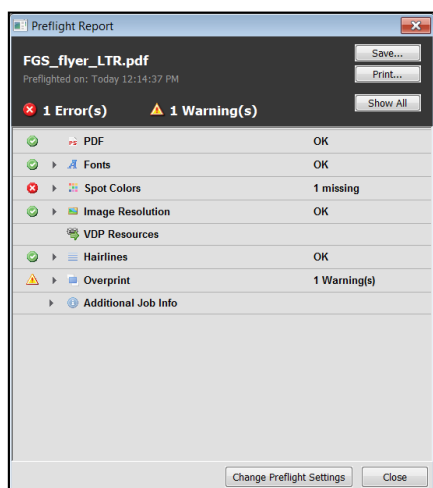
## その他のリソース

その他のソフトウェア ダウンロードやトレーニング リソースについては、[Fiery オンライン リソース](#)を参照してください。

## はじめに

- Fiery Command WorkStation® 5.7 (またはそれ以降) を起動し、Fiery FS200/FS200 Pro を実行している、少なくとも 1 つ以上の Fiery サーバーに接続してください。
- Fiery FS200 の場合は、Fiery Productivity Package をアクティベートします。
- Fiery FS200 Pro の場合は、Graphic Arts Package, Premium Edition をアクティベートします。
- **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_LTR.pdf** または **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_A4.pdf** というファイルを Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポート メニュー オプションを使用してください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。

**FS200 手順:** Fiery サーバーでプリプレス ツールを使用してファイルに関する問題のトラブルシューティングを行う



## ジョブのプリフライト

1. Command WorkStation の待機リストで **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_LTR.pdf** または **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_A4.pdf** を選択します。次に、右クリックして「Preflight」を選択します。
2. Preflight でチェックする各プリフライト項目の設定と、レポートレベル（「重大」または「警告」）を選択します。この例では、次のデフォルト設定を使用します。
  - a. 1 つ目の重大エラーでプリフライトを中止：「オフ」
  - b. フォント：フォント不足 - 「重大」、Courier の有無を確認 - 「警告」
  - c. スポットカラー：スポットカラー不足 - 「重大」
  - d. 画像解像度：解像度が 150 dpi 未満（150 dpi はデフォルト値） - 「警告」
  - e. バリアブルデータ印刷リソース：リソース不足 - 「オフ」、最初の 10 レコードのみをプリフライト - 「オフ」
  - f. ヘアライン：線の太さが 0.25 ポイント未満（0.25 はデフォルト値） - 「警告」
  - g. オーバープリント：オーバープリント検出 - 「警告」

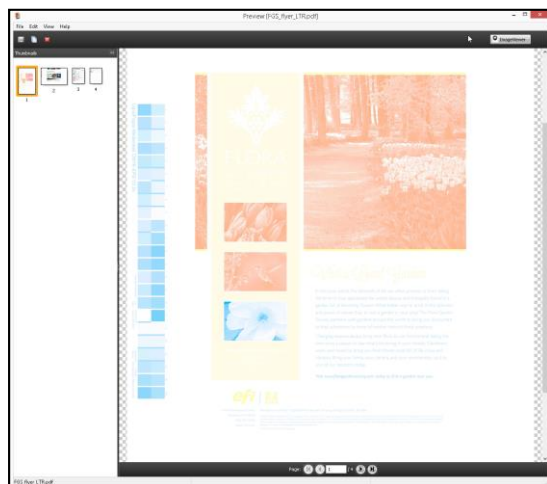
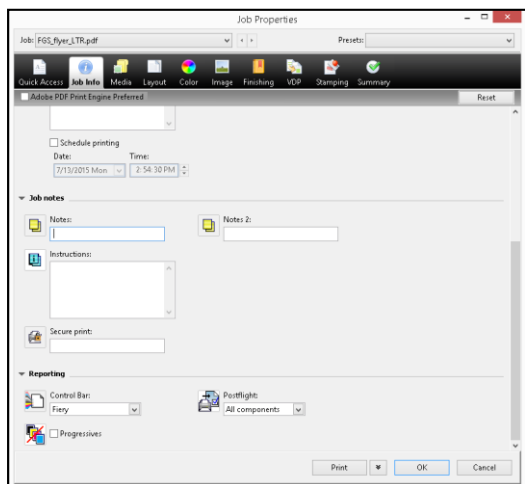
今後ジョブに適用したい特定の Preflight 設定がある場合は、プリセットとして保存することで設定を保存できます。

3. 「プリフライト」をクリックして、ジョブのプリフライトを行います。
4. Preflight レポートが生成され表示されます。「すべて表示」をクリックして、詳細レポートを表示します。
5. この例では、スポットカラー Pantone 375c の不足でエラーが 1 件検出され、このジョブにはオーバープリントが含まれていることを示す警告メッセージが 1 つ表示されます。これらの項目はジョブの印刷前に修正する必要があります。

スポットカラーの不足は、Fiery スポットカラーライブラリに追加することで解決できます。新しいスポットカラーの作成については、「FS200 手順: スポットカラー」を参照してください。

6. 「保存」をクリックすると、Preflight 設定を PDF ファイルとして保存し共有することができます。
7. Preflight レポートのレビューが完了したら、「閉じる」をクリックします。

## FS200 手順: Fiery サーバーでプリプレス ツールを使用してファイルに関する問題のトラブルシューティングを行う



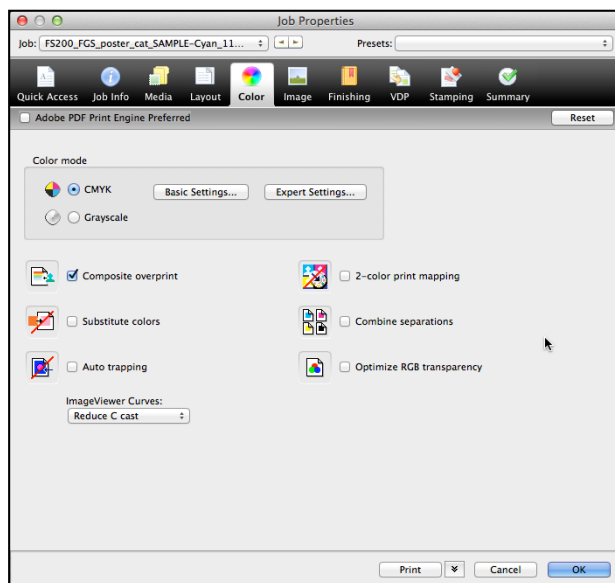
### ジョブのポストフライト

1. Command WorkStation の待機リストで **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_LTR.pdf** または **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_A4.pdf** を選択します。右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「ジョブ情報」アイコンをクリックします。
3. 「レポート」の下の「コントロールバー」をドロップダウンメニューから選択して適用します。
4. 「Postflight」で、ジョブのレポートレベルを選択します。
5. この例では、「すべて」を選択して、詳細レポート、テストページ、カラーコードページを含む全レポート一式を生成します。
6. 「用紙」アイコンをクリックします。
7. 「出力用紙サイズ」で、「11x17」または「A3」を選択します。
8. 「印刷」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を適用し、ジョブを印刷します。
9. ジョブが印刷され、Postflight レポート一式が出力されます。Postflight レポートでは、ページ上の各要素をカラーコードで色分けして、使用されているカラーデータのタイプを示します。

*Postflight レポートのカラーコードは次のとおりです。*

- 赤のオブジェクトは、RGB オブジェクトを表します (デバイス RGB)。
- シアンのオブジェクトは、CMYK オブジェクトを表します (デバイス CMYK)。
- イエローのオブジェクトは、名前付きカラーのオブジェクトを表します (スポットカラー)。
- 黒のオブジェクトは、グレーのオブジェクトを表します (デバイス グレー)。

10. カラーコードページ レポートで、イエローのオブジェクトを確認し、不足している Pantone カラーの場所を特定します。
11. このレポート一式には、ジョブの印刷に使用されたカラー設定と、カラー出力の調整に使用できるツールの詳細を報告する Postflight レポートも含まれています。



## 「ジョブのプロパティ」での ImageViewer 曲線の適用

1. Command WorkStation の待機リストで **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_LTR.pdf** または **FS200\_FGS\_flyer\_SAMPLE\_A4.pdf** を選択します。右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「カラー」アイコンをクリックします。
3. 「ImageViewer 曲線」で、利用できるプリセットの 1 つを選択します。
4. この例では、デフォルトの曲線調整の 1 つを選択します。
5. 「印刷」をクリックして、ジョブを送信し、出力を表示します。または、「処理後待機」を選択して、ラスタライズしたファイルをプレビューに表示します。

デフォルトの曲線調整には、*Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition* または *Fiery Productivity Package* は必要ありません。

デフォルトの曲線には、低ハイライト、ミッドトーン強調、シャドウ詳細、C キャスト低減、M キャスト低減、Y キャスト低減があります。

カスタム曲線は、*Fiery ImageViewer* で作成し保存することができます。これには、*Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition* または *Fiery Productivity Package* が必要です。カスタム曲線は、*ImageViewer* または「ジョブのプロパティ」で適用できます。

## EFIはお客さまのビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：<http://www.efi.co.jp>まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, Best, the Best logo, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, DockNet, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, Fabrivu, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktenity, Inkware, Jettrion, the Jettrion logo, LapNet, Logic, MiniNet, Monarch, MicroPress, OneFlow, Pace, PhotoXposure, Printcafe, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Rastek, the Rastek logo, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincrolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.